



SANJO ROTARY CLUB

三条ロータリークラブ

2009.11.25 (No.2571) 週報 No. 20

第2560地区ガバナー／植木 康之  
会 長／菊池 涉  
会長エレクト／樺山 仁(クラブ奉仕A)  
副 会 長／山田 富義(クラブ奉仕B)  
幹 事／松永 一義  
S A A／成田 秀雄  
会 計／石月 良典

例会日／毎週水曜日12:30～  
例会場及び事務局／  
三条市旭町2-5-10 三条信用金庫本店内  
例会場／TEL 34-3311  
事務局／TEL 35-3477 FAX 32-7095

E-mail: sanjo-rc@cpost.plala.or.jp  
http://www.soho-net.ne.jp/~rotary/  
(~はshiftを押しながら“へ”のキーを  
押してください)

■本日の出席会員数:55名中40名  
■先々週出席率:84.41%

【ゲスト】

・ 柏崎市議会議員  
中村明臣 様

【先週のメイクアップ】

[11.17] 三条東RCへ

・ 斎藤弘文さん、 西川文夫さん  
・ 渡邊喜彦さん

[11.20] 吉田RCへ

・ 加藤紋次郎さん

[11.24] 三条北RCへ

・ 五十嵐晋三さん、 斎藤弘文さん  
・ 藤田絃一さん、 加藤紋次郎さん  
・ 熊倉昌平さん、 小越憲泰さん  
・ 山田富義さん、 浅野金治さん  
・ 武田眞二さん、 石月良典さん



「ロータリーの未来は、  
あなたの手の中に」

2009～2010年度国際ロータリーのテーマ

季節のお花 (シクラメン)



会長挨拶

菊池 涉 会長

このモノ



2010年度会長

ご挨拶申し上げます。

私この頃二日酔いをしなくなりました。以前はよく二日酔いで、翌朝役に立たないことが度々あったのですが、今年になってからはたった一度、私が会長になるということで先輩諸氏に激励会をやって頂き、ついつい過ぎてしまい、翌日の例会をパスしてしまったことがございました。それ以外は、「やばいかなあ」と思う日も何度かあったのですが、大丈夫でした。

これには私なりに思い当たる場合がございます。「ウコンの力」です。別に薬の宣伝をするわけではないのですが、飲む前もしくは飲んだ後にひと瓶・ウコンの力です。よく効くようです。家内など後でまとめて変調をきたすのではと案じてくれていますが…、今のところウコンさまさまです。

薬あればとて、毒このむべからず

「歎異抄」にある親鸞の言葉です。「アミダさまはどんな悪人をも救って下さる。だからといって、わざわざ悪いことをしてはいけない」という意味です。さしずめウコンのみに毎日お酒を飲んではいけませんということでしょうか。

しかし、親鸞のこの言葉にはもっと深い人間洞察が隠されています。

人間というものは、たとえそれが毒だとわかっている、飲まずにおられないこともあるのだと。これは体に悪いと知っていても、飲まずにおれないのがこの私なのだ。こんな

ことをしてはいけないのだと百も知りながら、やめられない。

お心当たりはございませんか？坂井法子の擁護をするわけではないのですが、麻薬はいけないと重々知りながら、吸ってしまう。好きになってはいけない女性だと解っていながら、惚れてしまう。これもどうしようもない。

小説家はそういう弱い人間を度々作品に登場させます。「お酒はほどほどに」「はい」。「人妻に惚れてはなりません」「はい」。こんな主人公では小説にはならない。小説にならないということは読者の共感を得られない。

私も宗教家の端くれで、多少は東西の宗教文学の勉強をしてきたと自負しているわけですが、仏教でもキリスト教でも罪を犯した人間は、その罪によって逆に「救いの道」を見つかる場合が多いことを、長年のあいだ、信じています。言いかえれば、罪は救いと背中合わせになっているのであり、その場合、我々の罪は必ずしも無意味ではなかったと思っています。

仏や神は、あなたの犯した罪は全て見通しなのです。みんなご存じです。ご存じであるけれども、多くの人がおびえるように、それによって仏や神は怒ったり、裁いたりなさらない。それどころか、罪を犯し、その罪故に悩み苦しむものを慈しみ、共に悲しんでくださる。救って下される。

罪深きロータリアン諸君！ご安心なさい。あなたはその罪故に救われるのですから。

## 幹事報告

### 松永一義 幹事

◎いからしの里より「サンタクロース派遣のお願い」が届いております。

とき 12月16日(水) PM2:00~3:00

ところ いからしの里 デールーム

参加予定者 会長、幹事、社会奉仕委員会よろしく  
お願い致します。

◎三条市特別支援教育研究協議会より「ウィンターフェスティバル中止のお知らせ」が届いております。

## ニコニコBOX

### 菊池 渉さん

お天気続きです。本日の卓話 中村様、先日は柏崎でごちそうになりました。本日もよろしく願います。

### 荻根澤隆雄さん

久しぶりの例会出席です。

罪滅ぼしではないですが、今日は中村氏を紹介させていただきます。

### 若槻八十彦さん

本日は成田さんがお休みで、代わりにSAAを務めます。よろしく願います。

中村様、卓話を楽しみにしております。

### 野崎喜一郎さん

先日、新穂高ロープウェイに乗って来ました。笠ヶ岳、槍ヶ岳、奥穂高等の山々がとてもきれいに見えました。雪ともたわむれて、楽しい一日でした。

### 佐野勝榮さん

「天地人」はTVでも視ましたが、上下巻を読み、直江兼統の人物像を知り得ました。中村様のお話、楽しみにしています。

### 小出子恵出さん

中村様、遠路をようこそ。当RCのために卓話においでいただきありがとうございます。

卓話楽しみにしています。

### 明田川賢一さん

中村様、ようこそ三条RCへ。

武田眞二さん、 平原信行さん、 船越正夫さん、  
松永一義さん、 藤田紘一さん、 五十嵐晋三さん、  
会田二郎さん、 杉山幸英さん、 小越憲泰さん、  
山田富義さん、 樺山 仁さん、 五十嵐昭一さん、  
渡辺勝利さん、 高橋 司さん

中村様、卓話ありがとうございます。

### 石橋育於さん

都合により早退させていただきます。

### 丸山行彦さん

都合により早退致します。

11月25日分 ￥24,000

今年度累計 ￥456,500

# 12月のお祝い

## ◎夫人誕生祝

- 1日 若槻由美子さん (八十彦さん)
- 6日 熊倉純子さん (博之さん)
- 18日 萩根澤愛子さん (隆雄さん)
- 18日 菊池まゆみさん (渉さん)
- 31日 坂上洋子さん (昭さん)

## ◎結婚記念祝

- 4日 渋谷健一さん (トヨさん)
- 9日 杉山幸英さん (敏子さん)

## ◎100%出席賞

- 11年 佐野勝榮さん
- 5年 会田二朗さん



## 卓 話

### 「憎っくきは兼継、断じて許さじ!!」

かみじょうじょうじょうしゅ きじゆんさいよしはる  
(上条城城主・宜順齊義春 物語り)



柏崎市議会議員 中村 明臣 様

三条ロータリークラブさんに呼ばれてましてやっけてまいりました。ろくな話しは出来ないと思ひますが30分聞いてください。萩根澤さんからのご紹介の中で1回2回では終わらないよと言われましたが本日は1回で終わるように縮めてお話しさせていただきます。

私は柏崎でプラスチック金型の成型・設計製作のプラスチック関係の仕事をして40年位やらせて頂いております。お近くにいられたら寄ってください。

今市議員というのがバレましたので話しを始める前にこれだけは言っておかなければだめなのですが、中越沖地震の時は本当に皆さんからお見舞いを戴きました事を感謝致します。お陰様で柏崎も急激に復旧いたしました。あまり立派になって市外から来られる人はびっくりされる位立派になりました。感謝しております。ありがとうございました。

先日会長と萩根澤さんと歓談した時にこんな話になりました。

「地球はまだ丸くないよね。」と。なぜそんな話しになったかわかりませんが、地球はそうだよ、丸くないよね。平らだよ、海の向こうは滝のように海が落ちていくんだって始まりました。萩根澤さんが山に登るとちょっと湾曲してるように見えるよな。それはお前の目が丸いからだなんて訳の解らない理屈で楽しく話しが進んだ訳です。そんな話しをしながら今日のテーマに入りたいと思うのですが、最近テレビで見たんですが28人の小学生に人間は死んだら生き返るか聞いたら、28人中25人が生き返ると答えたっていうんですね。其れくらいに今はバーチャル、架空映像、例えばさっきの地球が丸いなんていうのは映像では見ても自分の目では誰も見てない。

見たとしても人工衛星の中でガラスとか色んなものを通して見てるのですから、本当に触って見るような事は出来ない。でも信じざるを得ないところで科学は有るのですけど、今の画像は亀が急に空を飛んだり、蛇が竜になったり人間がすぐに生き返るみたいな映像が蔓延している訳です。そういう中で育っていますから子ども達がどういふふう成長して行くのかなと思うのです。私なんかは昔ウサギ

とか亀を絵本で見て現実に見るとすごいなって思ったんですが、そんな感動は今の子ども達にはあるのかなと思うところです。只今、皆さんが言われた‘真実かどうか’っていうこれですよ。そういう伝達方法が今有るのかなと危惧しています。それで天地人の話にいきなり入っていく訳ですが、私は去年くらいから歴史に興味を持ちまして少しずつ調べていくうちに柏崎にも凄い歴史物語があると教わりました。

たまたま天地人が大河ドラマで放送されたものですから興味を持って見ていたんですけど、この間22日の最終回になんと視聴率は新潟県では44%。全国的にも22%だということであります。観光にも多大な寄与をした訳ですから何も言う事はないのですが。そこで私がアンチ兼継なんて言うにあっちこっちであんたなんか兼継の悪口書いているから嫌いよなんて女の人に言われるんです。でもこれが真実なんだよ。と言うと驚かれるのです。

天地人の何が私にとっていけないかと言うと、此処だけの話しにして欲しいのですが殆どが嘘話です。ですから一寸歴史をかじると嘘だというのがバレてしまう。人名を変えたり時代を変えて書いてもらおうと助かると思うのですが、もう本も出てるし放送もされたので私が幾ら叫んでもダメだと思うのですが。一杯あるの中の2、3何が違うかと話しをさせて貰います。先、身長です。上杉謙信は小柄だった。でもテレビでは180センチ以上の阿部寛が演じてる。それがまさしく兼継の身長なんです。多分若い時は栄養がないからヒョロヒョロしていたと思うんです。事務方（総務係みたいなもの）をやっていたから、家老さんの下働きみたいな事をやっていたのが現実であります。

景勝ですがテレビでも非常に無口な男として喋らない男として出てきましたけども、それでも結構喋ったり笑ったりしてました。でもこの景勝と景虎が戦って勝わけですが、この景勝は沈黙は金なんてものじゃなくて全然喋らない。無表情だったそうです。そんな経営者はいないと思うのですが無表情で喋らない経営者がいたらそんな会社はすぐ潰れてしまいます。だけど兼継がいたので上手くリードされながら上杉家が持って行けたということになっていますが、この景勝が1回だけ笑った事があるそうです。飼っていた猿が自分の真似をしてチョココンと景勝の席に座って部下に指図する真似をした。ウンウンと頷く真似をするのを見て笑った。これが一生で一度他の人が景勝の笑ったのを見た。これは本当みたいです。

何が言いたいかという兼継は家老が死んだ後家老に抜擢されます。2頭政治になるわけですが上手く兼継の思うままになって行ったのではないかと思うのです。

観光地での話しは殆ど嘘だと思ってください。本物は数少ないです。全てがとは言いませんが、例えば雲洞庵は八割り方は嘘です。柏崎の琵琶島城主だった宇佐美定満が溺死する場面から天地人は始まっていくのですが、あれは野尻池という池です。今は埋め立てられまして田んぼになっているのですが、あそこにいくと池が有るのですがそれは加山雄三が作ったという話しになっています。野尻池と野尻湖は混同しているのです。

野尻湖に行きますと真ん中に琵琶島っていうのが有ってそこに宇佐美貞行の墓が有るのですがこの人は架空の人物なのです。江戸時代の軍記物に書かれた小説の中に出てくるのですが本当にはいなかったのです。‘真実かどうか’皆さんも歴史小説を読む時には調べながら読むようにしてください。軍記物を読むのもいいけど史実を読んで書くように言われました。

私は今「憎っくきは兼継、断じて許さじ！」週間発行の越後タイムズに書かさせて頂いているのですが今日サンプルとして皆さんの御手元にも配らせていただきました。歴史小説は字の使い方から言い回し方が分からないものですから平原順二さんって方、私より二つか三つ若い方なのですが研究熱心で色々なものを読んでおられるので監修してもらって、これは本当か、人に説明できるか確認しながら書いていますからほぼ間違いのないものがそこに書いてあります。

フィクションの時、これはどこから拾ったと書き添えていますので八割り信用して貰っていいかなと思っています。

戦国時代、今と何が違ったかというまず経済的に違う。食い物が無い。もしかしたら葉っぱや野ネズミならいいんですが人さえも食わなければならなかったという時代です。想像を絶する時代であった。戦いといえば先ずやる事は火をつけ、放火をして困らせるような悪さをしなかったら戦争に入っていかなかった。もっと違った面も紹介したいので私の書いたもので申し訳ないのですが、読まさせていただきます。

衆道とはなにかという文章なんです。戦国や武士の世界を学ぶとき家庭を守ることへの異常なまでの執着と、当時の朝廷が絶対的な権利を有する家長制度は知っておかなければならない。さらに異質な一般的な風習は衆道である。この言葉の意味を知り



今までに頭に描いていた戦国時代や武士道、仏教、日本の歴史を振り返ると自然に頭がかしがってくる。読者の叫ぶ声が聞こえてきそうである。衆道とは若衆道の略で男色と訳す。早い話がおかま、ホモの世界である。信じがたいし信じたくもないが戦国大名が小姓を男色の相手としていた例は多い。織田信長と前田利家・森蘭丸、豊臣秀吉と石田三成、徳川家康と井伊直政ですね、伊達政宗と片倉重長、徳川家光と柳生十兵衛、古くは足利義満と世阿弥、義経と弁慶など枚挙にいとまがないほど、ほとんどの歴史上の有名人や大名の名前が連なるのである。謙信には上洛の帰途、近江の大津でみそめた河田という男の身内一族を春日山まで連れてきて、家臣にした史実があり武田信玄には百姓の子、高坂昌信を金で買い衆道の相手とした上、後に海津城将にまで格上げた記録がある。東海道中膝栗毛の冒頭には喜多八が弥次郎兵衛の衆道相手だったことが記述されている。一般庶民には善悪の感覚もないほどに日常化されていたのである。日本にこの文化がもたらされたのは仏教伝来と時を同じくしている。その元祖は弘法大師空海というのがこの世界の定説になっているのである。仏教には女犯という戒律があり僧侶が女性と交合することを禁じていたため特に僧侶のあいだで男色が行われるようになったらしい。まことに恐れ入る話である。現代ではこんなことはないと思いますがこんなことがあったらしいです。

謙信と景勝ですね、それから兼継は衆道関係にあったとすると謙信の死後の成り行きが自然な流れとなる。兼継が生涯側室を持たなかったりしたのは妄想のほてにああそうかと妙な合点をしてしまうということで紹介させていただきました。ようするに今の世界とは全く違う異質の世界が戦国時代であったんですね。これが現実だということを知っていただきたいと思います。わたしの書いている柏崎の城主上杉宜順斎義春という人が城主なんです、柏崎の人もほとんどの方が知りません。わたしにほんとなの、そんなことあったの？と言われるくらいですからほとんどの方は知りません。三条にも古城と言われる城があちこちにあるようなんですが調べましたら三つくらい出てきました。柏崎には108の古城や砦などがあるんですね。いくつかはほんとにそのままになって残っているというような状況ですが、観光協会も一般市民も知らないものですからそのままにしているとほんとにいい街だなと思うんです。

上杉家が越後を追われて会津、米沢に行かされたのは事実です。豊臣政権で権力を持っていた石田三

成と兼継が非常に仲がよかったと。この二人は同じ歳だったらしいですね。そういったことで仲がいいというのも事実です。ただですね、なぜそんなに仲のいい人をいい友達を会津とかに行かせたのかこれはわかりません。わたしがいろいろ考えてそれこそフィクションになるかもしれませんが、書いているのがこれからやっとなり兼継が登場してこれから来年に渡って書こうかなと思っています。柏崎の城主だった人物を歴史物にぼーん、ぼーんといれてやると非常にわかりやすくなるというのに気がきました。実際そのような道を史実でも辿っております。この人物は能登の銘菓に生まれているんですがわけあって五歳の時に柏崎に送られてきます。そして柏崎の城主になり謙信の養子になります。謙信の養子は二人だったと言われていますが実際は四人いました。そのうちの一人がこの人物だったわけですが、ご存知の御館の乱で実質的に活躍したのは柏崎の城主だったこの人物と山浦というもう一人の養子だったんですね。二つ三つ年上なんです、その二人で先陣切ったりなどしてこの二人が大活躍してるのですが史実にはなかなか出てこない。その頃兼継は事務方の手伝いをしていますから、鎧甲をつけて合戦に赴くなどということはまず一切なかったわけです。追いつめられてやっとなり戦いに行くようになるんです。その追いつめたのは誰かと言うと義春なんです、山浦、義春の活躍で御館の乱は勝利するのですが兼継は、事務方を一手に引き受けていた家老である人物がなくなるとその仕事を引き継ぐことになります。それから景勝を兼継の二頭政治が始まるのですが、背は高いけど歳は一番下で合戦の経験もないので義春と山浦が目の上のたんこぶになってくるわけです。これは事実であります。特に義春には人望があり非常に好かれていた人間らしいですね。とにかく人が集まってくる。そこで景勝は義春はどうも上杉家に乗っ取ろうとしているといわゆる悪口を告げます。最初は景勝を相手にしてなかったのですが、何度も言われるうちに半信半疑となりそのうちに本気になりまして牢屋敷に閉じ込めて殺そうとするんです。他の武将に好かれていまして助け出されて一旦能登に逃げ帰ります。そこから兼継とバトルが始まるのですが、その後畠山という名家ですから上杉よりも格が上の名家なんです。わたしが考えるには会津に行かされたのはその辺のことがあるんじゃないかと思いました。

兼継と景勝は義春の奥さんと子どもを人質というか屋敷牢に入れて閉じ込めてしまうんです。それを

不憫に思った秀吉が石田三成にかわいそうだから早く一緒にならせなさいと返してあげなさいと言われたんですが、石田三成は兼継と仲がいいものですから知らない振りをしているわけです。そのままずっと徳川一族まで行きます。そういう悪いことをやったんですね。人の女房子どもを離れ離れにしたりということを平気でやっていたというような人間なんです。テレビの中では仁愛に満ちた人と書かれていますけれども実際は違ったようです。

上杉家はやっぱり名家ですから義春は守ってやらなければならない家です。謙信にも世話になりました。五歳の時からずっと世話になって一緒に戦って合戦に行っって世話になった謙信の上杉家です。米沢に行かされても守らなきゃいけない、義春としては、いわゆる家長制度とか家柄というものをすごく大事にしていたんですね。兼継の家は二流か三流だったんでしょうね。兼継が60歳くらいで亡くなったときに断絶になったんです。

時間が来ましたので私の話はこれで終わりにさせていただきますが本日は本当にありがとうございました。

次週例会 12月9日 ロータリー財団委員長

荻根澤隆雄 会員

次々週例会 12月9日 ファミリークリスマスパーティー

PM6:30~ 於:越前屋ホテル

